

ペーザロ・ロッシェニ協会の記念リトグラフ(1864年)

(水谷彰良コレクションより)

ペーザロ・ロッシェニ協会の記念リトグラフ(1864年)

ロッシェニ生誕の地ペーザロに誕生したペーザロ・ロッシェニ協会 (Società rossiniana pesarese) は、1864年に72歳を迎えるロッシェニの聖名祝日を慶賀すべく設立された。同年1月、ペーザロの伯爵ゴルディアーノ・ペルティカーリ (Gordiano Perticari) から協会設立の報告を受けたロッシェニは、ペーザロへの「真の、そして熱き愛!!!」を表明し、市民たちに恩返しするつもりであると返書に記している (1864年1月15日付)。だが、協会の意を受けたペーザロ市長から式典で演奏する未出版作品の提供を求められて腹を立て、パリ以外で自分の新曲を披露しないと決めていると宣言するとともに、ペルティカーリに問題の収拾を求めた (6月3日付)。その結果、8月21日にペーザロで行われた記念式典にはロッシェニの新曲が無く、メルカダンテ作曲《ロッシェニ讃歌 (Inno a Rossini)》が演奏され、翌22日にはパチーニ作曲《ロッシェニと祖国 (Rossini e la patria)》が初演された。

これはペーザロ・ロッシェニ協会が記念式典用に制作したリトグラフで、おそらくポスター大のサイズから画像部分を切り取ったものと思われるが、筆者以外の所蔵を確認できず、原画や全体像が不明である。筆者所蔵の画像部分のサイズは23.5×35.3 cm、肖像下部に「TUTTO」「ARMONIA」「SPIRÒ」(すべての/調和を/呼び覚ませり)とあり、6人のキューピッドの小さな翼に「DO」「RE」「MI」「FA」「SOL」「LA」の音名が書かれている(シ[SI]は無い)。右手の楯にラテン語の囲み文があり、その中央に一本の木が描かれ、「FIDELITAS (忠実)」の文字に続いて握手する手が二つ描かれている。

ペーザロ・ロッシェニ協会は1864年の記念式典のために設立され、その後の活動は確認できない。ちなみに日本ロッシェニ協会の欧名「Società Rossiniana Giapponese」は、ペーザロ・ロッシェニ協会 (Società rossiniana pesarese) の精神を受け継ぐべくこのリトグラフを基に筆者が提起し、1995年12月の設立時に採用された。



ペーザロ・ロッシェニ協会のリトグラフ(1864年。筆者所蔵) (Società rossiniana pesarese [1864])